



<作業力よりも生活力と社会性が重要!>

=社会でのルールなどを(も)知っていく=

スイッチでの各学部別
目線と向き合い方 →

小学生高学年→ 伝え方や対応を年齢相応にしていく
中学生→ 苦手な事にも向き合い、とにかく経験を積む
高校生→ 経験を活かし、本当に必要な事への絞り込み

高校生になったら、新たな成長を望むよりも、

「出来る事、出来ている事への確実な力を付ける事」 = 「どこでもどんな状況でも発揮できる力をつける事」
の方が重要になると思われます。

作業に関しては、学校できっちり行っているの、みんな確実性と正確性を高めてやる事が出来ます。
[目の前に、明確な形の(補助用語、表示がある)状況、状態であれば]、ほぼ確実にやる力は持っていますし、
学んでいます。厳しく言えば、報連相も含めて「出来て当然！」です。社会に出る、働く人になる為に重要な
スキルは、「生活力と社会性」です！

高校の実習及び就職と就労は、作業は出来て当然！社会性と生活力がどれだけ身に付けてるかが
カギです！ここに、様々な意味合いでの「精神力」が追加されたらいいですね。

「特性やこだわり」にも、成長過程でコントロール可能なものとそうでないものがあります。

「特性やこだわりだから…」は大人の決めつけ。逃げ。言い訳です!!! 一緒に向き合っていきましょう☆

- 社会性→ 広く社会に適用するような性質。社会集団の一員であるのにふさわしい性質。
自分の判断や行動を、周りに受け入れられるような形で表現できる力。
- 生活力→ 社会生活を営む上で必要になる能力。実社会で生活をしていく力。

この力をどれだけ、「強化と向上でき、本当の力に出来たか」で、高校卒業後(長い人生)が変わります！

そこに「応用力」も加える力がついたら、BEST!ですね☆

聞き取り力、思考力、協調性、表現力、伝える力等……………。

学校は、主に働く力など社会性身に付けます。生活力は、主に家庭や習い事やデイの役割になるのでは…。



<文で表現し、正確に(伝える)>

=曖昧・単語・間違い表現など、なんでもキャッチしない=

文で表現をし、正確な言葉を使い伝える事を重視しています。ここを意識して子供たちの表現を聞いてみると、
「言いたいことは分かる！」という感じで、受け止めてしまっていました。大反省です。気にしてみてください。

言葉を上手に使う子たちも意外と間違った言葉や言い回しをしています。 「お願いします」「ありがとうございます」「貸してください」「借りたことに関する言葉」などの使い分けは難しいようです。

その理由は、ちゃんと状況で教えてもらっていないが為に、「言葉と使い方を、そもそも知らない」だけです。
ちゃんとした言葉を使い、表現をする事で、自分の行動をしっかりと認識する事が出来、行動の確実性にも繋がります。
(繋がっています) 今までは、とにかく「言葉を発する」「言葉で伝える」事を再重視でしたが、今は確実性を重視して
います。